

2023
年度

高校生用

手紙の 書き方



目次

- 1. 行事や季節に合わせたいろいろなお便り P2~3
- 2. 様々なあて名の書き方 P4~5
- 3. はがき・切手 P6
- 4. 手紙にふさわしい表現 P7
- 5. 手紙を書いてみよう
 - ①お礼状の書き方 P8~9
 - ②内定をいただいた企業へのお礼状 P10~11
- 6. 夏のお便りの書き方 P12~13
- 7. 年賀状の書き方 P14~15
- 8. 知っている役立つ郵便情報Q&A 裏表紙

年 組 番 名 前

2023年度

手紙の書き方

夏のお便りの書き方

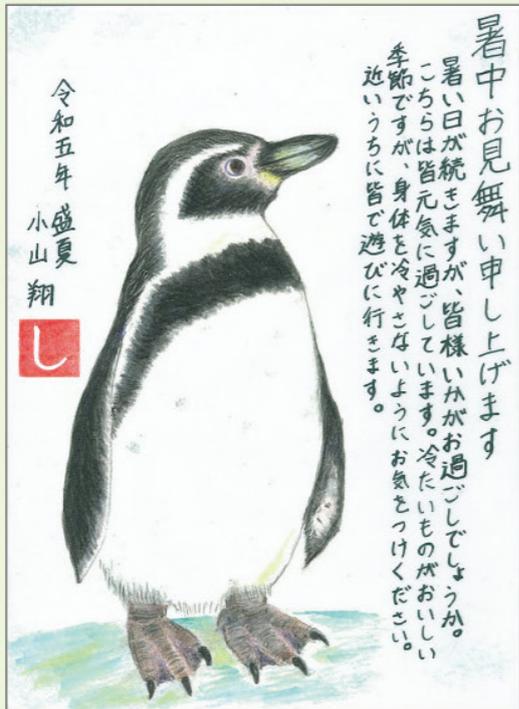


マークは書きましょう



マークは読みましょう

夏

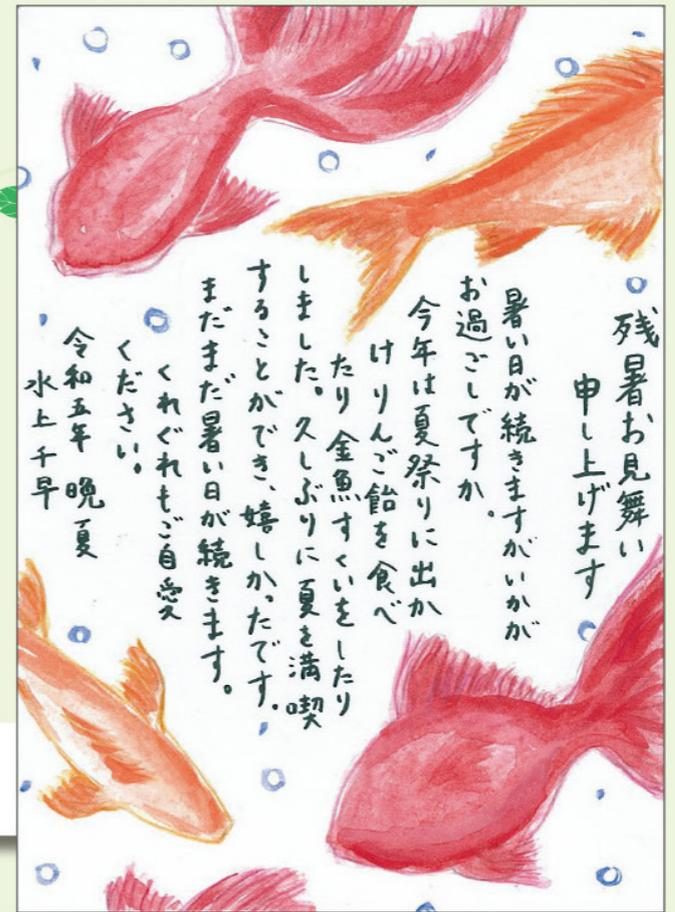


暑中お見舞い申し上げます
お元気ですか
今年も朝顔がたくん咲きました



暑中見舞い

残暑見舞い



6

夏のお便り(暑中見舞い・残暑見舞い)の書き方



見てみましょう

P12 ~ P13

2023年度 高校生用

手紙の書き方

郵便はがき
7230068
広島県三原市北町三ー十二
村上翔太様
東京都目黒区東四ー十一
石田

目次

1. 行事や季節に合わせたいろいろなお便り P2~3
2. 様々なあて名の書き方 P4~5
3. はがき・切手 P6
4. 手紙にふさわしい表現 P7
5. 手紙を書いてみよう
 - ①お礼状の書き方 P8~9
 - ②内定をいただいた企業へのお礼状 P10~11
6. 夏のお便りの書き方 P12~13
7. 年賀状の書き方 P14~15
8. 知っている役立つ郵便情報Q&A 郵便紙

年 組 番 名 前

6 夏のお便り(暑中見舞い・残暑見舞い)の書き方

●「暑中見舞い」とは

明治時代に始まり、大正時代になって定着したお便りです。もともと(江戸時代)は、「暑中」(大暑から立秋まで)の間がとも暑いので、「暑中見舞い」として、夏負けを防ぐ「食べ物」を、お世話になった方へお土産に持って行ったのが始まりと言われています。今年の場合は小暑(7月7日)から立秋の前日(8月7日)までに届くように出す夏のあいさつのお便りを「暑中見舞い」と言います。(7月23日の大暑から出すという説もあります。)
*日付は毎年同じとは限りません。その年のカレンダーなどで確認しましょう。

●「残暑見舞い」とは

立秋(8月8日)を過ぎてから暑さが残る頃に送るあいさつのお便りです。「残暑お見舞い申し上げます」と書きます。8月中、遅くても処暑(9月7日頃)までに届くように送りましょう。前文あいさつには、句点(。)は不要です。

④後付け ③末文 ②主文 ①前文

暑中お見舞い申し上げます

連日の猛暑ですが、いかがお過ごしでしょうか。私はインターハイに向けてソフトボールの練習に日々励んでいます。今年は高校最後の夏なので悔いが残らないように頑張りたいと思います。しばらく寝苦しい夜が続きますが、水分補給を忘れずにご愛ください。

令和五年七月 盛夏 鈴木友紀

①前文(書き出し)

- ★暑さを見舞うあいさつ
 - ・暑中お見舞い申し上げます
 - ・残暑お見舞い申し上げます
 - ※前文あいさつには句点(。)は不要です。
- ★相手の安否を尋ねる
 - ・いかがお過ごしですか。
 - ・お変わりなくお過ごしのことと思います。

②主文(本文)

- ★この夏の体験、近況
- ★相手に伝えたい出来事
 - ・毎日部活のソフトボールの練習で汗を流しています。
 - ・受験生なので、勉強にイそむ毎日です。

③末文(結び)

- ★暑い季節だからその相手の健康を願う言葉
- ★今後のこと
 - ・暑い日が続きますが、ご愛ください。
 - ・お体を大切になさってください。

④後付け

- ★日付
 - ・暑中見舞いの時は「盛夏」
 - ・残暑見舞いの時は「晩夏」「立秋」
- ★自分の名前

掲載以外の夏のお便りの作例はコチラからスマートフォン・携帯はコチラから

「あて先」「伝えたいこと」をメモ書きした後、実際のはがきと同じ大きさの場所に書いてみましょう。

あて先(誰に書きますか?)

伝えたいこと(この夏の出来事や近況などを箇条書きしてみましょう。)
(例)友人たちと海水浴に行ったこと

■ヒント

前文(書き出し)の「暑中お見舞い申し上げます」は★やや大きめに書きます。★句点(。)は不要です。空いているところに文章に合う絵を描いてもいいですね。(→P3の見本を参照)

④後付け ③末文 ②主文 ①前文

残暑お見舞い申し上げます

残暑厳しき折、皆様お変わりなくお過ごしのことと思います。この夏は、家族で蔵王に行き、山登りをしました。大変でしたが、山頂からの眺めは素晴らしいです。今年お土産を持っています。まだまだ暑い日が続きますが、どうぞご愛ください。

令和五年八月 晩夏 菜津子

はがきの裏面です

左右の端には少し余白を空けて書きます。

実際の郵便はがきと同じ大きさです。(気持ちは込めて丁寧に書きましょう。)

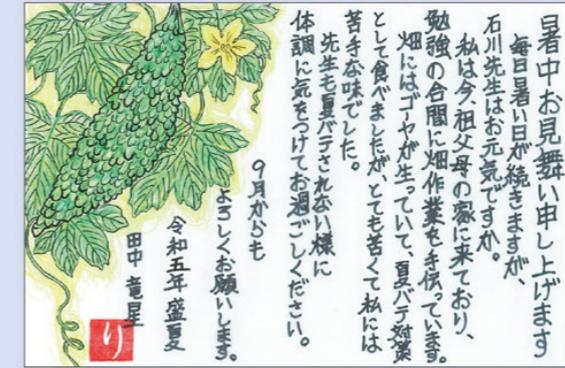
●「暑中見舞い」とは

明治時代に始まり、大正時代になって定着したお便りです。

もともと(江戸時代)は、「暑中」(大暑から立秋まで)の間がとても暑いので、「暑中見舞い」として、夏負けを防ぐ「食べ物」を、お世話になった方へお土産に持って行ったのが始まりと言われています。

今年の場合は小暑(7月7日)から立秋の前日(8月7日)までに届くように出す夏のあいさつ状を「暑中見舞い」と言います。(7月23日の大暑から出すという説もあります。)

※日付は毎年同じとは限りません。その年のカレンダーなどで確認しましょう。



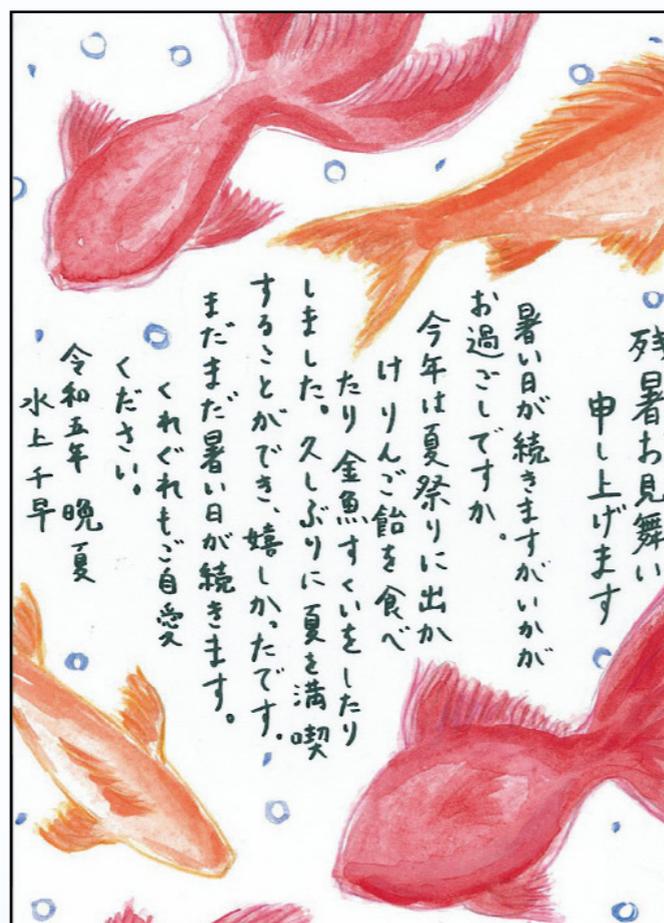
赤い線の部分を読みましょう。

小暑(7月7日)から
立秋の前日(8月7日)までに
届くように出す。

●「残暑見舞い」とは

立秋(8月8日)を過ぎてから暑さが残る頃に送るあいさつ状です。

「残暑お見舞い申し上げます」と書きます。8月中、遅くても処暑(9月7日頃)までに届くように送りましょう。前文あいさつには、句点(.)は不要です。



赤い線の部分を読みましょう。

**立秋(8月8日)過ぎて
8月中に届くように送る。**

6 夏のお便り(暑中見舞い・残暑見舞い)の書き方

④後付け ③末文 ②主文 ①前文

暑中お見舞い申し上げます

連日の猛暑ですが、いかがお過ごしでしょうか。

私はインターハイに向けてソフトボールの練習に日々励んでいます。今年は高校最後の夏なので悔いが残らないように頑張りたいと思います。

しばらく寝苦しい夜が続きそうですが、水分補給を忘れずにご自愛ください。

令和五年七月 盛夏

鈴木友紀



①前文(書き出し)

- ★暑さを見舞うあいさつ
 - ・暑中お見舞い申し上げます
 - ・残暑お見舞い申し上げます
 ※前文あいさつには句点(。)は不要です。
- ★相手の安否を尋ねる
 - ・いかがお過ごしですか。
 - ・お変わりなくお過ごしのことと思います。

②主文(本文)

- ★この夏の体験、近況
- ★相手に伝えたい出来事
 - ・毎日部活のソフトボールの練習で汗を流しています。
 - ・受験生なので、勉強にいそしむ毎日です。

③末文(結び)

- ★暑い季節だからこそその相手の健康を願う言葉
- ★今後のこと
 - ・暑い日が続きますが、ご自愛ください。
 - ・お体を大切になさってください。

④後付け

- ★日付
 - ・暑中見舞いの時は「盛夏」
 - ・残暑見舞いの時は「晩夏」「立秋」
- ★自分の名前

夏のお便りは4つの部分

1. 前文 (書き出し)
2. 主文 (本文)
3. 末文 (結び)
4. 後付け

から構成されている。

暑中見舞い・残暑見舞いの書き方 ①

「暑中(残暑)お見舞い申し上げます」
句点「。」は不要

④ 後付け ③ 末文 ② 主文 ① 前文

連日の猛暑ですが、いかがお過ごしでしょうか。

私はインターハイに向けてソフトボールの練習に日々励んでいます。今年は高校最後の夏なので悔いが残らないように頑張りたいと思います。しばらく寝苦しい夜が続きますようですが、水分補給を忘れずにご自愛ください。

令和五年七月 盛夏

鈴木友紀



暑中お見舞い申し上げます

① 前文 (書き出し)

★暑さを見舞うあいさつ

- ・暑中お見舞い申し上げます
- ・残暑お見舞い申し上げます
- ※前文あいさつには句点 (。)は不要です。

★相手の安否を尋ねる

- ・いかがお過ごしですか。
- ・お変わりなくお過ごしのことと思います。



例を読みましょう。

暑中見舞い・残暑見舞いの書き方 ②

④ 後付け	③ 末文	② 主文	① 前文
<p>水分補給を忘れずにご自愛ください。</p> <p>令和五年七月 盛夏</p> <p>鈴木友紀</p> 		<p>暑中お見舞い申し上げます</p> <p>連日の猛暑ですが、いかがお過ごしでしょうか。</p> <p>私はインターハイに向けてソフトボールの練習に日々励んでいます。今年は高校最後の夏なので悔いが残らないように頑張りたいと思います。</p> <p>しばらく寝苦しい夜が続きそうですが、</p>	

②主文(本文)

- ★この夏の体験、近況
- ★相手に伝えたい出来事

- ・毎日部活のソフトボールの練習で汗を流しています。
- ・受験生なので、勉強にいそしむ毎日です。



例を読みましょう。

暑中見舞い・残暑見舞いの書き方 ③

④ 後付け	③ 末文	② 主文	① 前文
<p>令和五年七月 盛夏</p> <p>鈴木友紀</p>	<p>水分補給を忘れずにご自愛ください。</p> 	<p>悔いが残らないように頑張りたいと思います。</p> <p>日々励んでいます。今年は高校最後の夏なので</p> <p>私はインターハイに向けてソフトボールの練習に</p> <p>連日の猛暑ですが、いかがお過ごしでしょうか。</p>	<p>暑中お見舞い申し上げます</p>

③ 末文 (結び)

★暑い季節だからこそその相手の健康を願う言葉

★今後のこと

- ・暑い日が続きますが、ご自愛ください。
- ・お体を大切になさってください。



例を読みましょう。

暑中見舞い・残暑見舞いの書き方 ④

④後付け ③末文 ②主文 ①前文

暑中お見舞い申し上げます

連日の猛暑ですか、いかがお過ごしでしょうか。
私はインターハイに向けてソフトボールの練習に
日々励んでいます。今年は高校最後の夏なので
悔いが残らないように頑張りたいと思います。
しばらく寝苦しい夜が続きそうですが、
水分補給を忘れずにご自愛ください。

令和五年七月 盛夏

鈴木友紀



主文や末文より
少し下げてください。

④後付け

★日付

- ・暑中見舞いの時は「盛夏」
- ・残暑見舞いの時は「晩夏」「立秋」

★自分の名前

暑中見舞いー盛夏

残暑見舞いー晩夏・立秋

残暑見舞いー晩夏・立秋



全文読みましょう。

残暑お見舞い申し上げます

残暑厳しき折、皆様お変わりなくお過ごしのことと思います。

この夏は、家族で蔵王に行き、山登りをしました。大変でしたが、山頂からの眺めは素晴らしかったです。

今度お土産を持っていきます。

まだまだ暑い日が続きますが、どうぞご自愛ください。

令和五年八月

晩夏

菜津子

6 夏のお便り(暑中見舞い・残暑見舞い)の書き方

実際に暑中・残暑見舞いを書く練習をしましょう。



あて先と伝えたい事をメモしましょう。

「あて先」「伝えたいこと」を
メモ書きした後、実際のはがきと
同じ大きさの場所に書いてみましょう。

あて先(誰に書きますか?)

伝えたいこと(この夏の出来事や近況などを箇条書きしてみましょう。)

(例)友人たちと海水浴に行ったこと

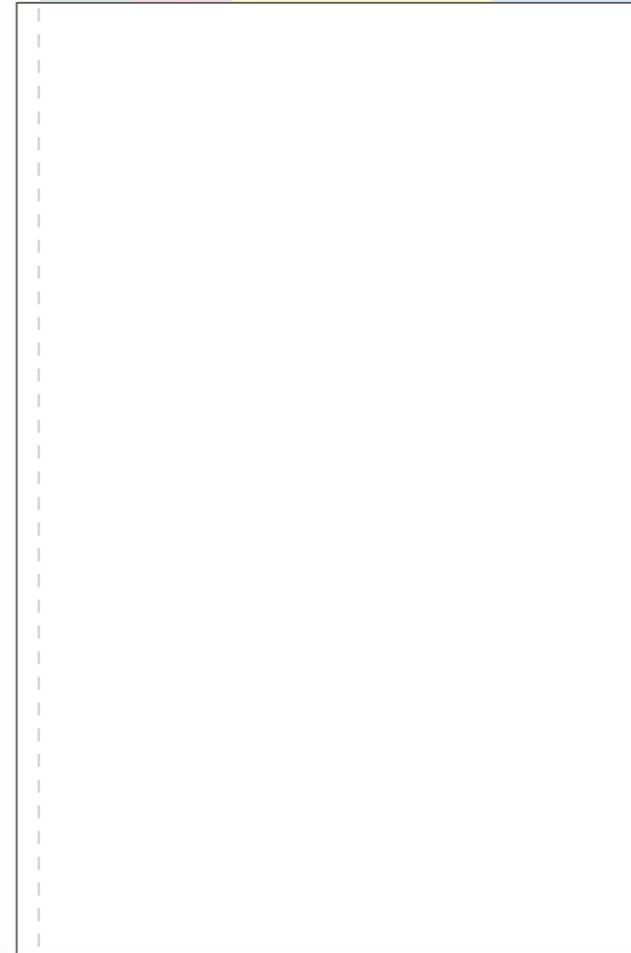
■ヒント

前文(書き出し)の
「暑中お見舞い申し上げます」は
★やや大きめに書きます。
★句点(.)は不要です。
空いているところに文章に合う絵を
描いてもいいですね。
(→P3の見本を参照)



メモ書きした後、実際の郵便はがきと同じ大きさに書く練習をしましょう。

④後付け ③末文 ②主文 ①前文



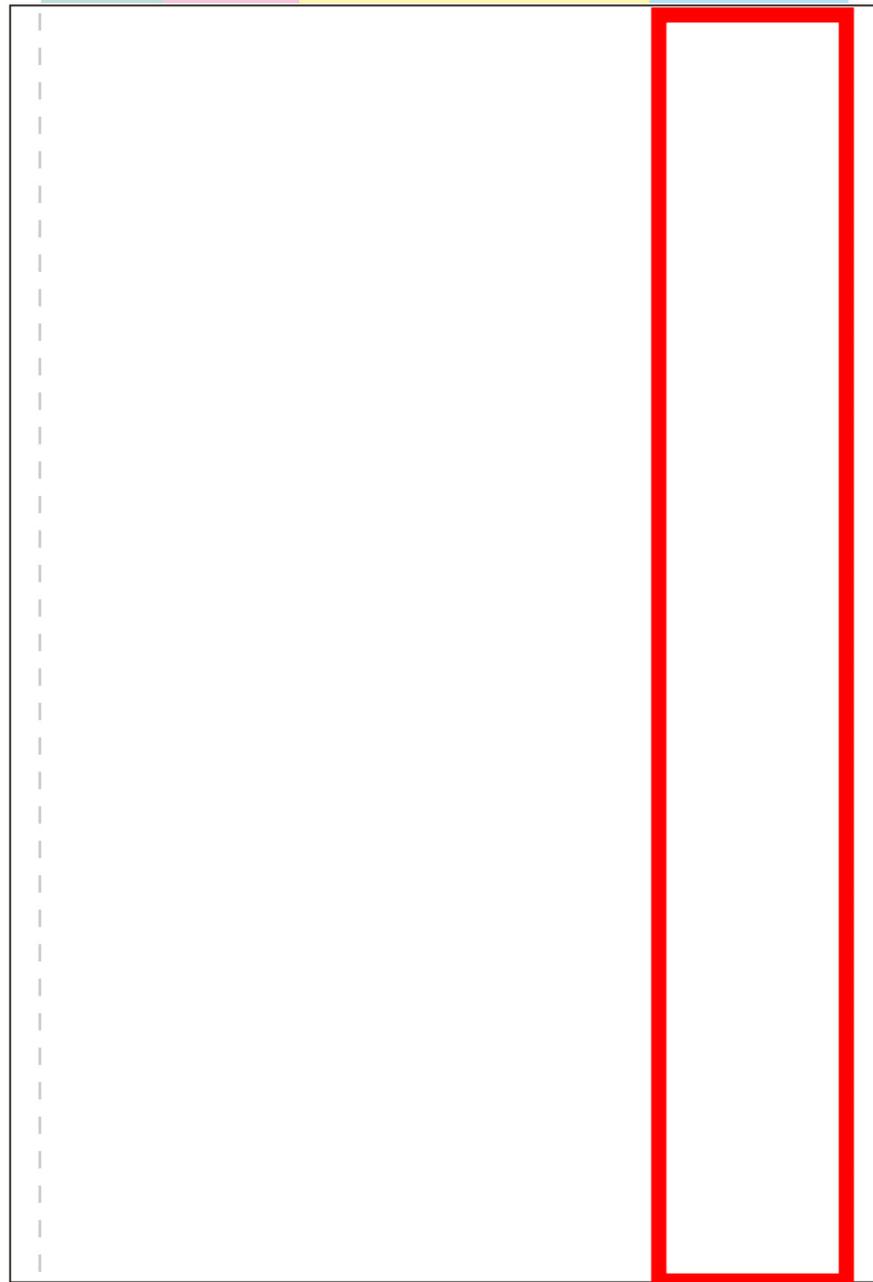
実際の郵便はがきと同じ大きさです。(気持ちを入れて丁寧に書きましょう。)

はがきの裏面です

左右の端には少し余白を空けて書きます。

暑中見舞い・残暑見舞いの書き方 ①

④後付け ③末文 ②主文 ①前文



実際の郵便はがきと同じ大きさです。(気持ちを入れて丁寧に書きましょう。)

① 前文 (書き出し) を書きましょう。

① 前文 (書き出し)

★暑さを見舞うあいさつ

- ・暑中お見舞い申し上げます
- ・残暑お見舞い申し上げます

※前文あいさつには句点 (。)は不要です。

★相手の安否を尋ねる

- ・いかがお過ごしですか。
- ・お変わりなくお過ごしのことと思います。

■ヒント

前文(書き出し)の

「暑中お見舞い申し上げます」は

★やや大きめに書きます。

★句点(.)は不要です。

空いているところに文章に合う絵を描いてもいいですね。

(→P3の見本を参照)

「暑中お見舞い申し上げます」

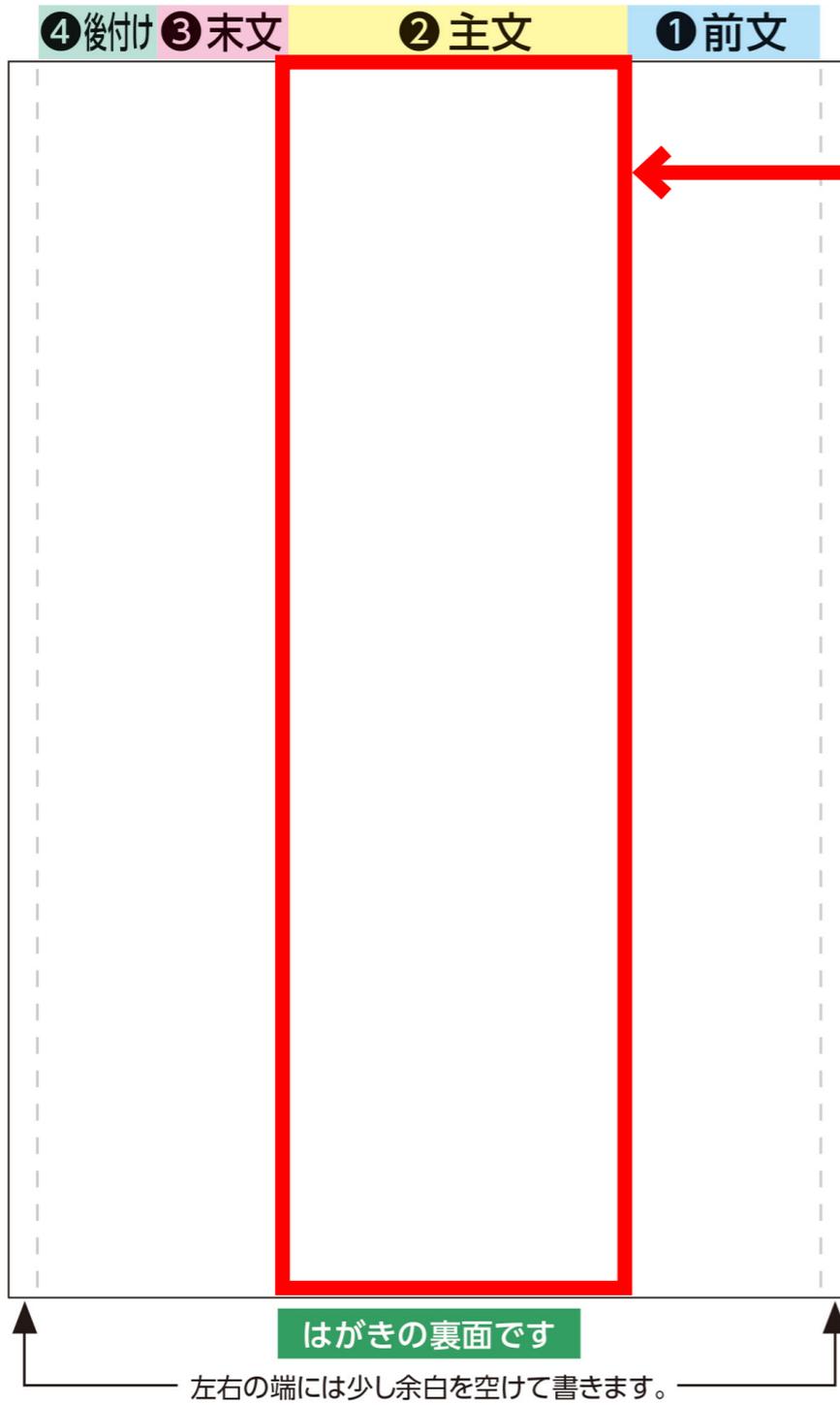
「残暑お見舞い申し上げます」

やや大きめに書く。

はがきの裏面です

左右の端には少し余白を空けて書きます。

暑中見舞い・残暑見舞いの書き方 ②

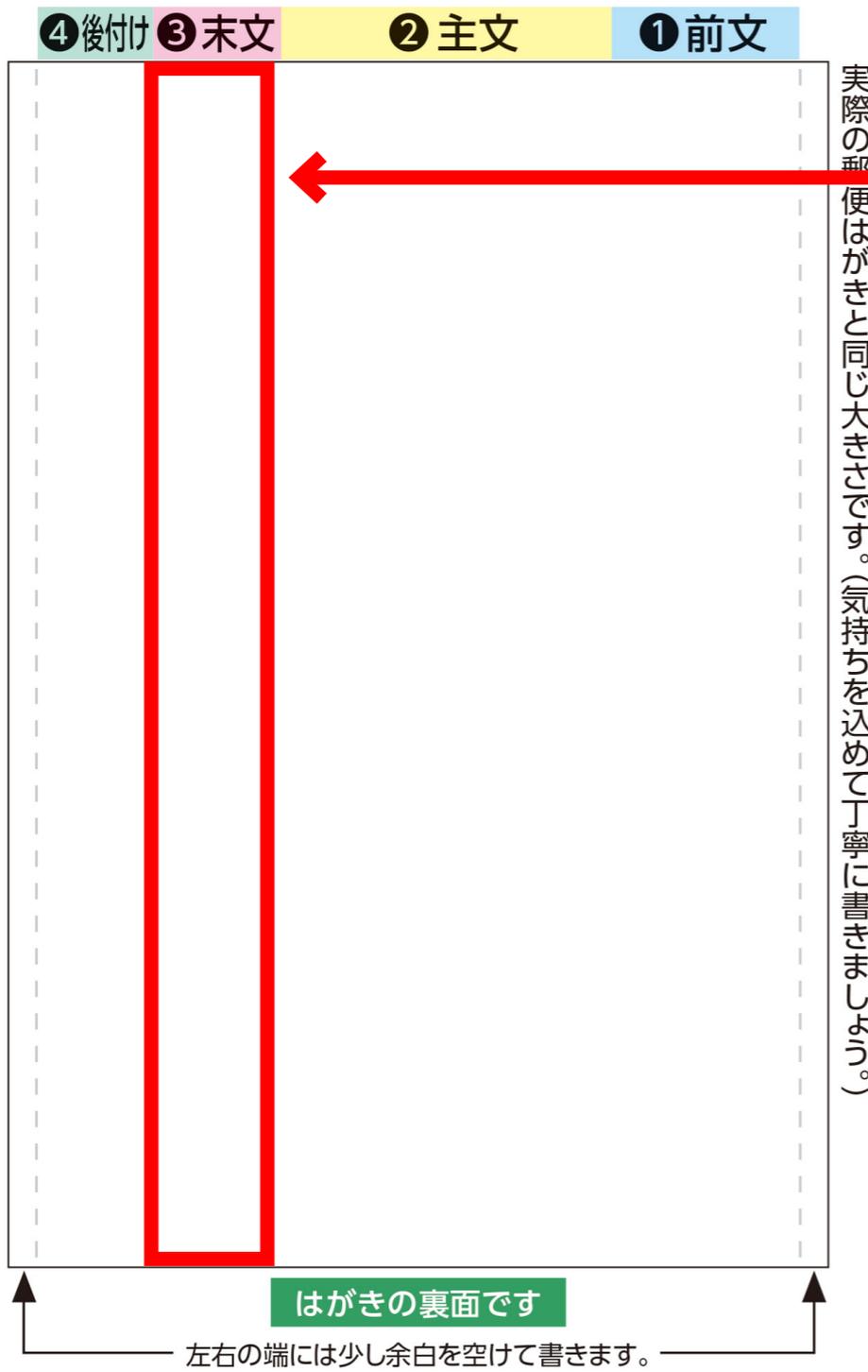


② 主文を
書きましょう。

② 主文 (本文)

- ★この夏の体験、近況
- ★相手に伝えたい出来事
 - ・毎日部活のソフトボールの練習で汗を流しています。
 - ・受験生なので、勉強にいそしむ毎日です。

暑中見舞い・残暑見舞いの書き方 ③

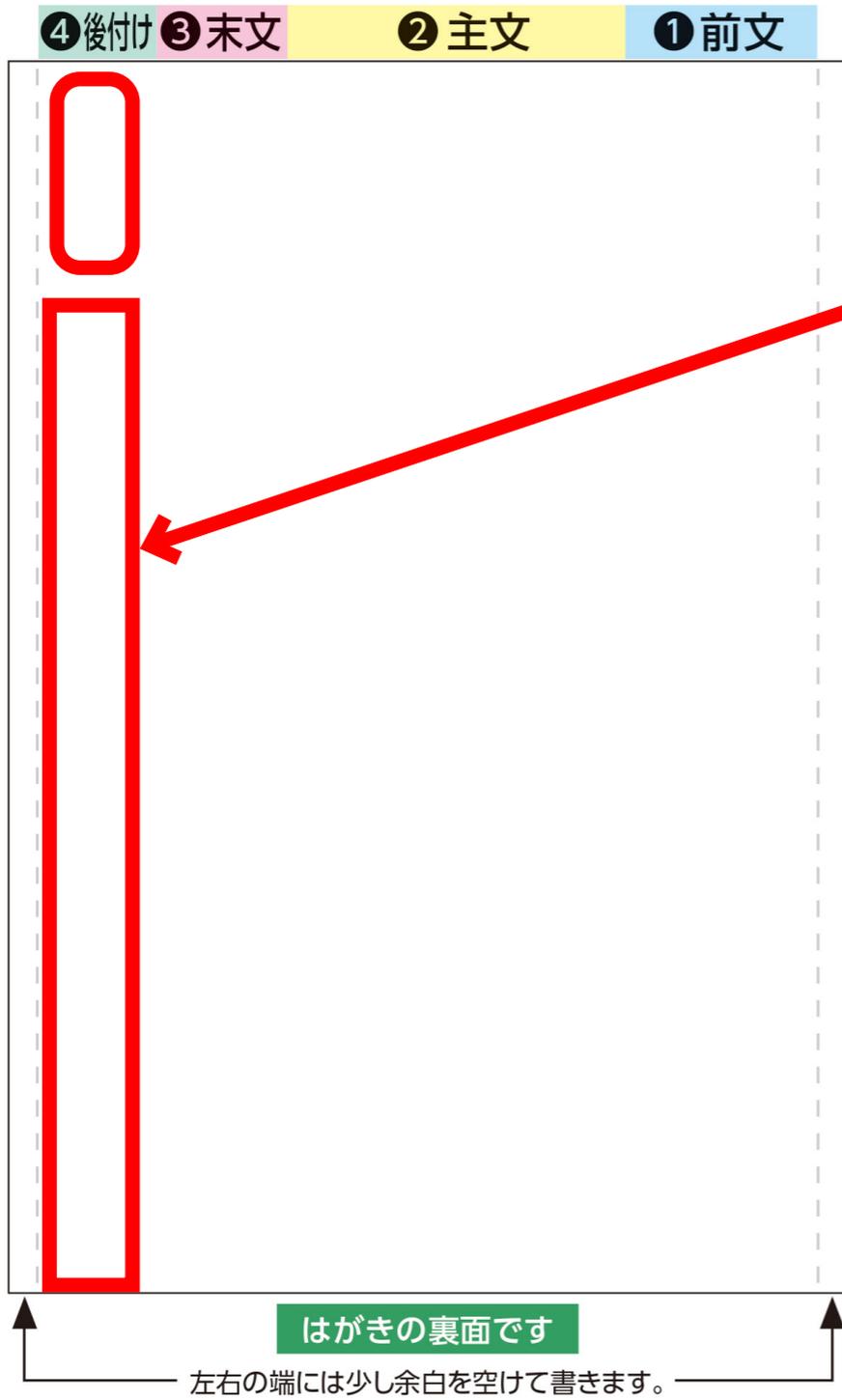


③ 末文を書きましょう。

③ 末文 (結び)

- ★暑い季節だからこそその相手の健康を願う言葉
- ★今後のこと
 - ・暑い日が続きますが、ご自愛ください。
 - ・お体を大切になさってください。

暑中見舞い・残暑見舞いの書き方 ④



実際の郵便はがきと同じ大きさです。(気持ちを入れて丁寧に書きましょう。)

④ 後付けを
書きましょう。

④ 後付け

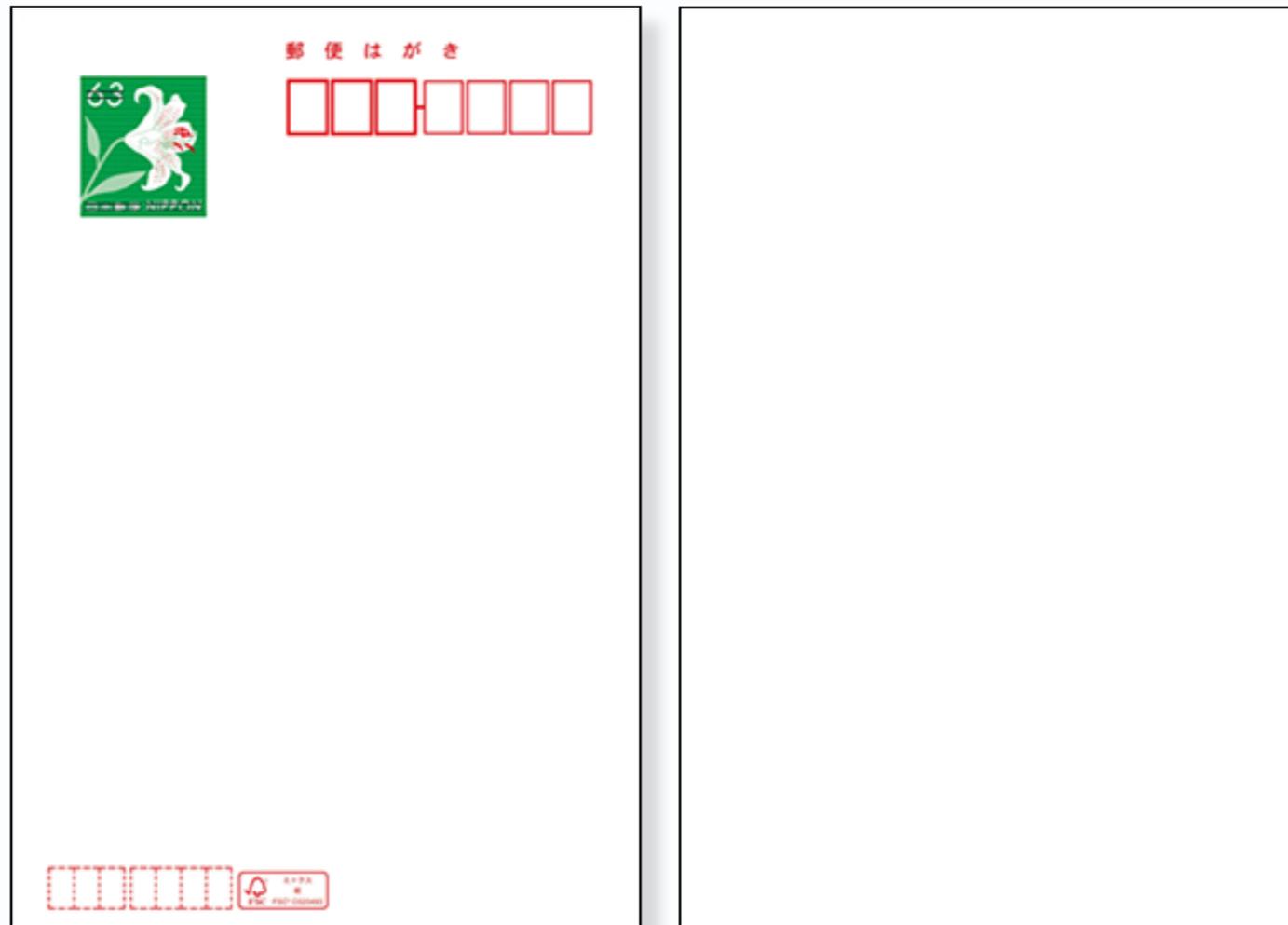
★日付

- ・暑中見舞いの時は「盛夏」
- ・残暑見舞いの時は「晩夏」
「立秋」

★自分の名前

主文や末文よりも
少し下げて書く

 テキストで暑中見舞い・残暑見舞いを書く練習が
できたら、本物の郵便はがきに書きましょう。



表面のあて名は、テキスト P. 5 のあて名の書き方を参考にして、正しく書きましょう。

■ 縦書きでの場合

自分	相手
	<p>郵便はがき</p> <p>① 7 2 3 0 0 6 8</p> <p>② 村上 翔太 様</p> <p>③ 広島県三原市北町 三ー十二</p>
<p>④ 東京都目黒区東 四ー十二ー一</p> <p>⑤ 石田 美咲</p> <p>⑥ 1 5 2 0 0 1 8</p>	

- ① 郵便番号は、正しく丁寧に書きましょう。
- ② 相手の名前は真ん中に大きめの字で書きます。正しく丁寧に書きましょう。
- ③ 相手の住所は名前より小さめの字でバランスを見ながら書きます。縦書きの場合、右端から鉛筆1本分程度空けて書きます。

- ④ 自分の住所を小さめの字で書きます。
- ⑤ 自分の名前を小さめの字で書きます。
- ⑥ 自分の郵便番号を書きます。

■ 横書きでの場合

相手	自分
	
<p>郵便はがき</p> <p>① 7 2 3 0 0 6 8</p> <p>③ 広島県三原市北町 3 - 12</p> <p>② 村上 翔太 様</p>	<p>④ 東京都目黒区東 4 - 12 - 1</p> <p>⑤ 石田 美咲</p> <p>⑥ 1 5 2 0 0 1 8</p>

暑中見舞い・残暑見舞い（表面・裏面）が書けたら、ポストに入れてみましょう。

